

R 7 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	外国語・英語コミュニケーションⅢ(普・理)	単位数	4	担当者	宮田・守田
---	----	-------	-----------------------	-----	---	-----	-------

1. 教科書・副教材

- ・教科書 : Heartening English Communication Ⅲ (桐原書店)
- ・副教材 : Heartening English Communication Ⅲ Workbook (桐原書店)、WORDBOX (美誠社)
ALL EARS Pre-Advanced (美誠社)、TACTICS10 (桐原書店)

2. 科目の目標

- ・ これまで学んできた英語の4技能を踏まえ、各題材において、様々なコミュニケーションの形を通し、自分自身の感想や意見を表現する能力に磨きをかける。意見交換などを通し様々なものの見方を知り、新たなものの見方を育む。
- ・ 様々な題材について英語で聞き、読むことによって、世界の出来事に目を向けさせ、多様な価値観を養う。

3. 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	4月	Lesson1 What Makes Up Your Identity?	・L 対話 ・R 記録文	70	既習範囲
	5月	Lesson2 Predicting Future Technology	・L 講演 ・R 説明文		
	6月	Lesson3 The Science of Sleep	・L インタビュー ・R 論証文		既習範囲
	7月	Lesson4	・L 2つのニュース ・R 意見文		
	8月	Diversity and Inclusion			
	9月	Lesson5 Protein Crisis	・L 対話 ・R 説明文		
後期	10月	Lesson6 Different Types of Happiness	・L ニュース ・R 3つの説明文	70	既習範囲
	11月	Lesson7 Pros and Cons of Utilizing AI	・L ディベート ・R 説明文		
	12月	Lesson8 Kintsugi: The Art of Embracing the Imperfect	・L インタビュー ・R 2つの説明文		既習範囲
	1月	Lesson9 Getting Your Message Across	・L 講演 ・R 論証文		
	2月	Lesson10 Medical Ethics During a Pandemic	・L 3人の会話 ・R 記録文と説明文		
	3月				

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	英語の知識・技能の理解を深め、それらを実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できるか。	定期考査、単語テスト、小テスト
思考・判断・表現	外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝え合ったりすることができるか。	定期考査、表現活動
主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組んでいるか。外国語の背景にある文化を理解し、自ら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	提出物、授業への取り組み(発言、ペアワーク、グループワーク)

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

今まで積み上げたものを発揮できるよう積極的に言語活動に取り組みましょう。

R 7 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	外国語・論理・表現 I（専門科）	単位数	2	担当者	守屋
---	----	-------	------------------	-----	---	-----	----

1. 教科書・副教材

- ・教科書 : Standard Vision Quest English Logic and Expression (啓林館)
- ・副教材 : Vision Quest 論理・表現 I Standard Workbook (啓林館)

2. 科目の目標

英語の4技能（読む、聴く、書く、話す）を総合的に身に付け、基本的な文や語句を用いて、情報・意見・考えなどをロジカルに、わかりやすく英語で表現する能力を身につける。

3. 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月	Lesson1 I want to introduce my new friend.	文の種類	35	既習範囲
	5月	Lesson2 Do you want to join our show?	文型と動詞		
	6月	Lesson3 I'm planning a day trip this weekend.	時制		既習範囲
	7月	Lesson4 Have you ever tried it before?	完了形		
	8月	Lesson5 What do you want to do after high school?	助動詞		
	9月	Lesson6 Did you hear about the new shop?	受動態		
後期	10月	Lesson7 I'm happy to have you with us.	不定詞	35	既習範囲
	11月	Lesson8 What sports do you like playing?	動名詞		
	12月	Lesson9 Digital media has come a long way.	分詞		既習範囲
	1月	Lesson10 That's why I decided to go back.	関係詞		
	2月	Lesson11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?	比較		
	3月	Lesson12 I think it's a good idea.	仮定法		

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けているか。	定期考査
思考・判断・表現	外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、また、論理的に表現することができるか。	定期考査、ライティング、スピーキング
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	提出物、授業への取り組み(発言、ペアワーク、グループワーク)

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

失敗を恐れず、学習していきましょう。Practice makes perfect!!!

R 7 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	外国語・論理・表現Ⅲ(普・理)	単位数	2	担当者	守田・宮田
---	----	-------	-----------------	-----	---	-----	-------

1. 教科書・副教材

・教科書	: APPLAUSE English Logic and ExpressionⅢ (開隆堂)
・副教材	: Next Stage 英文法・語法 (桐原書店) Next Stage 英文法・語法問題 Best Trainer (桐原書店)

2. 科目の目標

・論理的な思考力を身につけ、論理の展開や表現方法を工夫する能力を磨く。また、これまで学んできた英語の知識を踏まえたうえで、4技能5領域のうち「話す（やり取り）」「話す（発表）」「書く」といった英語のアウトプットを強化する。

3. 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月	1 ゴールデンウィークの計画を立てよう	予定、意図、確信、希望・願望の表現を身に着ける	35	既習範囲
	5月	2 自分の将来について考えよう	好き・嫌い、得意・不得意、個人的感想の表現を身に着ける		
	6月	3 新しい旅のスタイルを提案しよう	提案・助言、必要性・義務、勧誘、受諾・辞退の表現を身に着ける		既習範囲
	7月	4 要望を伝えるEメールを書こう	依頼・要請、許可の表現を身に着ける		
	8月	5 感謝の気持ちを伝えよう	感謝、祝福・喜び、同情、心配・懸念の表現を身に着ける		
	9月	6 困っている状況を説明しよう	苦情、謝罪、譲歩の表現を身に着ける		
後期	10月	7 方法や手順を教えあおう	時間的順序、空間的配列・方向、数量(比較)、方法・様態に関する表現を身に着ける	35	既習範囲
	11月	8 思い出にある人々や場所のことを伝えよう	描写力・説明力を高める		
	12月	9 自分の考えを整理し、パラグラフにまとめよう	長所と短所をまとめ、3つのパラグラフからなる文章を書く		既習範囲
	1月	10 プレゼンテーションソフトを使って発表しよう	プレゼンテーションソフトを使ってクラスで発表をする		
	2月	11 考えを深められる話し合いをしよう	トピックについて調べ、自分の考えをまとめ、グループでディスカッションを行う		
	3月	12 根拠を明確にしてディベートをしよう	賛成派と反対派に分かれて意見をまとめ、ディベートをする		

4. 評価の方法

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	英語の知識・技能の理解を深め、それらを適切に伝える力があるか	定期考査
思考・判断・表現	情報を適切に思考し理解したり、表現したり伝え合ったりすることができるか	定期考査、その他の表現活動(別途授業内で提示します)
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化を理解し、自ら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)・忘れ物の有無

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

予習を必ず行い、自分のわからない点を明確にして授業に臨む。復習によって理解・知識の定着をはかる。

R 7 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	外国語・応用英語(理)	単位数	2	担当者	宮田
---	----	-------	-------------	-----	---	-----	----

1. 教科書・副教材

SKYWARD OCEAN Course 3rd Edition 最新入試英語長文20選（桐原書店）

2. 科目の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、4技能における言語活動において、必要な情報を的確に拾い理解し、またその内容を自分の言葉で適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

3. 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲		
前期	4月	Unit 1～ Unit 4	旅行、環境、人口問題に関する英文を扱い、読解を深める。	35	左記学習事項の範囲		
	5月						
	6月	Unit 5～ Unit 8	人体、宇宙、言語、AI についての英文を扱い読解を深める。		左記学習事項の範囲		
	7月						
	8月						
9月	Unit 9～ Unit 12	生物学、歴史、健康、工業についての英文を扱い読解を深める。					
後期	10月	Unit 13～ Unit 16	コミュニケーション、日常生活、社会的課題(脱酸素社会、環境緑化)についての英文を扱い読解を深める。	35	左記学習事項の範囲		
	11月						
	12月					左記学習事項の範囲	
	1月	Unit 17 ～ Unit 20	会話、ノンフィクションなど様々な種類の読解にチャレンジする。				
	2月						
	3月						

4. 評価の方法

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	英語の知識・技能の理解を深め、それらを適切に伝える力があるか	定期考査
思考・判断・表現	情報を適切に思考し理解したり、表現したり伝え合ったりすることができるか	定期考査、その他の表現活動(別途授業内で提示します)
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化を理解し、自ら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)・忘れ物の有無

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

予習を必ず行い、自分のわからない点を明確にして授業に臨む。復習によって理解・知識の定着をはかる。